関西学院大学における地域連携の取組について



関西学院大学　西宮上ケ原キャンパス

関西学院大学の地域連携方針

関西学院大学では大学の第三の使命「社会貢献」を果たすべく、大学で創出された研究成果を社会に還元していきます。
知的財産の確保・活用を通じた地域企業や自治体との連携、さらにはスタートアップの創出支援を行うため、継続的に体制・人員の強化・充実を実施していきます。

PICK UP

大学の研究者



■　主な研究内容

感性の指標化
感性と物理量の関係のモデル化
ヒューマンセンシング

感性価値創造インスティテュート
・工学部
長田　典子　教授

※研究者の経歴等は
（URL：
https://ist.ksc.kwansei.ac.jp/~nagata/kvc/about/index.html）
をご参照下さい。

デジタル技術の活用
（データ利活用）

地域課題解決に向けた活用例

■　活用分野

観光

■　活用例

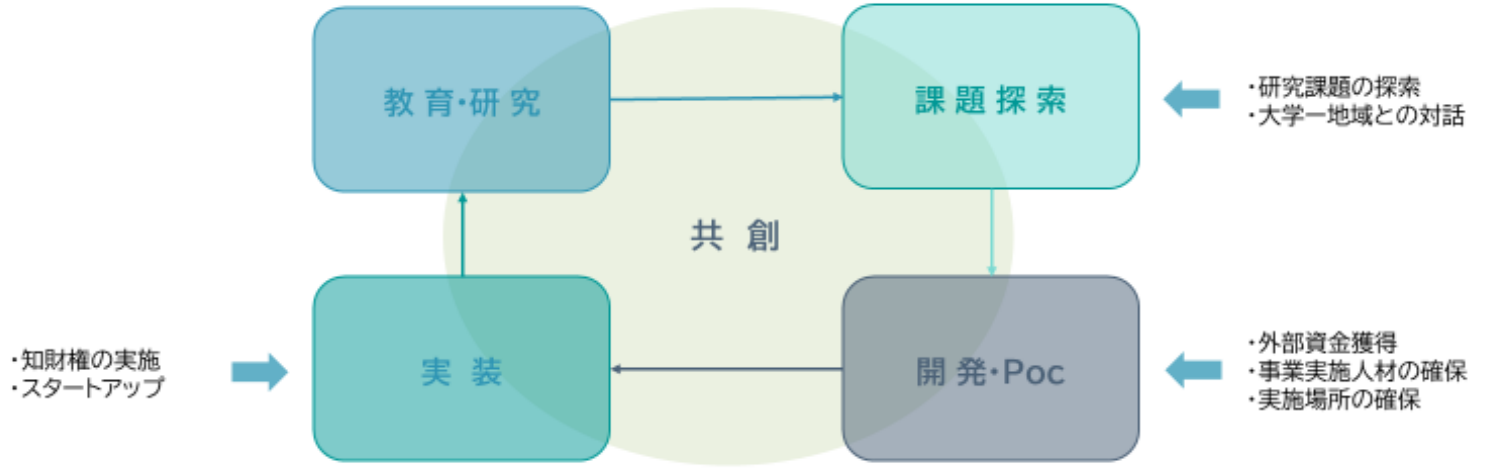
観光資源に関する印象・感情尺度を作成し、
観光地（赤穂市）と観光資源の印象・感情測定。
観光地と観光資源の魅力を可視化。

地域との連携形態について

地域との連携形態

関西学院大学では研究推進社会連携機構が地域との連携を担う組織として設置されています。
その中で、主に研究を通じた社会・地域連携は「知財産学連携センター」、主に教育を通じた連携として「社会連携・インキュベーション推進センター」という2つの窓口を設けています。教育・研究という大学の基本的活動を基礎に多様な連携を実現していきます。

大学の教育・研究の成果をもとに、地域社会との対話を実施。開発・Pocのプロセスを経て社会実装を行う。
その経験と新たに生み出した知識で、さらに教育・研究を活性化させるサイクルを実現。



参考URL：https://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/

地域との連携実績について

地域との連携実績

関西学院大学ではこれまで教育・研究の両側面において地域社会との連携事業を行ってまいりました。
神戸三田キャンパスに設置のインキュベーション施設「Spark Base】」では地域社会の課題の解決を目指す活動に加え、理工系研究を基礎としたスタートアップ創出による地域経済の発展を目指す活動を加速させます。

連絡先
関西学院大学　研究推進社会連携機構
TEL：079-565-9052
Mail：industry-academia@kwansei.ac.jp